

再評価結果（平成15年度継続箇所）

事業名	とうかいかんじょうじどうしゃどう 東海環状自動車道（国道475号）		事業区分	一般国道	事業主体	直轄
起終点	ぎふけんようろうくんようろうちょうおおあと 自：岐阜県養老郡養老町大跡		みえけんいなべくんほくせいちょうあげき 至：三重県員弁郡北勢町阿下喜		延長	18.0 km
事業概要						
一般国道475号東海環状自動車道は、名古屋市の周辺30～40km圏に位置する愛知・岐阜・三重3県の豊田・瀬戸・関・岐阜・大垣・四日市等の諸都市を環状に連絡し、第二東名・第二名神高速道路、東名・名神高速道路や中央自動車道、東海北陸自動車道等の国幹道や名古屋圏の自動車専用道路等と広域的なネットワークを形成する延長約160kmの高規格幹線道路である。養老～北勢間は、名古屋圏の環状道路の一部として、名神高速と第二名神を連絡するものである。また、岐阜県と三重県の県境に位置し、両県の連携・交流を促進するとともに、名古屋港、四日市港、中部国際空港等の中京圏の物流拠点を支援する重要路線である。						
H10年度事業化	H - 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H - 年度用地着手		H - 年度工事着手	
全体事業費	約1,500億円	事業進捗率	- %	供用済延長	- km	
計画交通量	14,800台/日					
費用便益比	B / C	総費用	総便益	基準年		
	2.2	1,105億円 (事業費：1,023億円 維持管理費：82億円)	2,457億円 (走行時間短縮便益：2,246億円 走行費用減少便益：163億円 交通事故減少便益：48億円)	平成15年		
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> - (2)物流効率化の支援 - (1)都市圏の交通円滑化の推進 - (3)地域づくりの支援 - (1)安全な生活環境の確保 - (1)道路の防災対策・危機管理の充実 <p>名古屋港、中部国際空港への高速アクセスを確保 名古屋都市圏に流入する通過交通を削減 生活圏中心都市である大垣市・四日市市間の時間短縮(38%) 並行道路の国道258号は交通事故死傷率264人/億台和 名神、名阪、第二名神を連絡し高速ネットワークの代替性を確保等</p>						
関係する地方公共団体等の意見						
・東海環状自動車道建設促進岐阜県西部協議会、西濃市町村議会議長連絡協議会が事業促進を要望						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域整備や道路整備に関する新たな計画等が策定 ・岐阜～三重県境断面の交通量は約4万台/日で増加傾向 						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
環境影響評価準備書(素案)の作成中						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
都市計画決定に向けて、環境影響評価手続きを進め、早期に事業化						
施設の構造や工法の変更等						
設計施工は、新技術の積極的な導入を行いコスト縮減及び工期短縮に努める 橋梁の少数主桁構造、トンネル内掘削の機械化などを今後検討						
対応方針	事業継続					
事業概要図						